



【学習目標】

- 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようになる。
- 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。
- 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする。

【学習を進めるにあたって】

使用教材

教科書	「国語六」	(光村図書)
	「小学書写六年」	(光村図書)
副教材	漢字ドリル 漢字ドリルノート	(明治図書)
	よむYOMUワークシート	(読売新聞社)

持ち物

教科書	ノート	漢字ドリル
漢字ドリルノート	国語辞典	漢字辞典
習字道具	筆箱 下敷き	タブレット

【学習の約束】

- 前日までに学習内容を読み、疑問に思うことに印をしたり、わからない言葉を調べる等予習をしてみましょう。
- 授業では、板書・気づいたこと等をノートに工夫して書きましょう。
- 積極的に発表して、考えを伝え合いましょう。
- ノートやプリントなどの提出期限を守りましょう。
- 学習の用意をわすれないようにしましょう。
- 次の学習の準備をしてから休みましょう。
- チャイムと同時に、授業を始められるようにしましょう。
- 呼ばれたら、大きな声ではっきりと返事をしましょう。
- 席をはなれる時は、いすを入れましょう。

がくしゅうないよう
【学習内容】(☆は書写) しよしゃ

ぜん 期	こう 期
<p>○帰り道</p> <p>○聞いて、考えを深めよう</p> <p>○笑うから楽しい/時計の時間と心の時間</p> <p>○たのしみは</p> <p>○デジタル機器と私たち</p> <p>○やまなし/イーハトーブの夢</p>	<p>☆用具の準備/用具の片付け/書く時の姿勢</p> <p>☆筆の持ち方/タブレットを活用しよう</p> <p>☆部分の組み立て方① (三つの部分)「湖」「街角」</p> <p>☆部分の組み立て方②</p> <p>☆点画のつながりと読みやすさ「ひまわり」</p> <p>☆筆順と点画のつながり「友情」</p> <p>☆用紙にあった文字の大きさと配列「名月や・・・」</p> <p>☆伝えるって、どういうこと?</p>
	<p>○みんなで楽しく過ごすために/伝えにくいことを伝える</p> <p>○『鳥獣戯画』を読む</p> <p>○発見、日本文化のみりよく</p> <p>○ぼくのブック・ウーマン</p> <p>○おすすめパンフレットを作ろう</p> <p>○「考える」とは</p> <p>○大切にしたい言葉</p> <p>○今、私は、ぼくは</p> <p>○海の命</p> <p>○卒業するみなさんへ</p>
	<p>☆書写ブック</p> <p>1年生 横書きの書き方</p> <p>2年生 げんこう用紙の使い方</p> <p>3年生 手紙の書き方</p> <p>4年生 はがきの表書き</p> <p>5年生 新聞の書き方の工夫</p> <p>6年生 ポスターを作るときの工夫</p> <p>☆書初め「感謝」</p> <p>☆六年生のまとめ①②「旅立ちの朝」</p> <p>☆今の思いを書き残そう</p>

ひょうか かんてん ばめん ほうほう
【評価の観点および場面・方法】

	ひょうか かんてん 評価の観点	ひょうか ばめん ほうほう 評価の場面・方法
・ 知識 技能	習った漢字を正しく書く。	ノート 漢字ドリルノート 漢字ドリル 単元テスト
	言葉のきまりがわかる。	授業の様子 発言・発表 ノート スピーチ 単元テスト
	文字を丁寧に書く。	書写の作品(毛筆・硬筆) ノート 漢字ドリル 漢字ドリルノート
思考 ・ 判断 ・ 表現	内容を正確に読み取る。	授業の様子 発言・発表 ノート よむよむ 単元テスト ふり返し
	思いや考えが伝わるように音読する。	音読 音読テスト
	筋道をはっきりさせて話す。	授業の様子 発言・発表 スピーチ
	話し手の意図を考えながら聞く。	授業の様子 単元テスト(聞くテスト) ふり返し
	自分の思いや考えを豊かに表現する。	授業の様子 発言・発表 作文 ノート ふり返し
主体的に取り組む態度	主体的に国語の学習に取り組む。	授業の様子 発言・発表 スピーチ 作文 よむよむ ノート ふり返し